

## 藤岡市新火葬場のレイアウト等に係る住民説明会【第5回】

### 1. 開催日

令和4年5月15日（日）

### 2. 参加者

行政庁：副市長、市民部長、市民課長、市民窓口係長、新火葬場建設係長、係員1名  
地元行政区：19名

### 3. 意見等と市の考え方

意見等	現火葬場での建替えであれば賛成ですが、現計画地での建設には反対します。
市の考え方	現火葬場での建替えは、火葬炉設備の大型化や敷地形状等から困難となります。そのうえで、人口の状況や交通の利便性、社会状況等を総合的に検討し、計画地を選定いたしましたのでご理解をお願いします。

意見等	隣接地への補償はしてくれるのか。
市の考え方	現状では難しいところがございます。

意見等	新たな火葬場は、環境面も大きく向上しており、市にとって必要な施設ですので、建設はやむを得ないと感じています。緩衝地帯等の意見を十分聞いて、前に進めていただければと思います。
市の考え方	要望につきましては、最大限取り組んで計画に反映をしたいと考えております。

意見等	計画地の選定経緯を教えてください。
市の考え方	現火葬場での建替えは、火葬炉設備の大型化や敷地形状等から困難となります。そのうえで、人口の状況や交通の利便性、社会状況等を総合的に検討し、計画地を選定いたしましたのでご理解をお願いします。

意見等	緩衝地帯における視覚的配慮について
市の考え方	緩衝地帯については、最大限配慮していきます。

意見等	今後の説明会について
市の考え方	住民の皆様に対する情報提供がある際に開催をしたいと考えております。

意見等	黒煙が排出されている現火葬場が残るよりも、新しい火葬場になって綺麗になるのであれば、良い計画であると感じています。
市の考え方	排ガス等については最新の設備を導入し、安心できるような設備にしたいと考えております。

意見等	緩衝地帯について、隣接地との間に道路を含み緑地化がされていれば、建設もやむを得ないと感じています。
市の考え方	計画地北側の道路は非常に狭いものとなっており、要望がありましたら、拡幅することも検討いたします。

意見等	計画地北側の道路の拡幅の仕方について
市の考え方	今の道路から計画地側に下がる想定です。

意見等	導入予定の火葬炉設備の測定値の測定はどこでされたのか。
市の考え方	排気筒の途中に測定口があり、そちらで測定した結果となります。測定値は大気に排出される前の火葬炉設備から出る最後の値となりますので、これ以降は大気に排出されるため、お示しした測定値以上の数値になることはなく、これ以下の数値になって排出されていきます。

意見等	測定は定期的にされるのか。
市の考え方	基本的には1年に1炉として実施することを想定しております。

意見等	ダイオキシンの排出抑制や緩衝地帯は十分配慮していただけていると感じます。
市の考え方	ありがとうございます。